

2023年10月5日
金剛化学株式会社
日本海ガス株式会社
株式会社ネクストプラス
株式会社テックシンカー

金剛化学と日本海ガス絆ホールディングスグループのカーボンニュートラルに向けた取り組み ～ 「カーボンクレジットの地産地消」によるオフセットモデル事業 ～

金剛化学株式会社（本社：富山県富山市 代表取締役社長：金森 俊樹 以下、金剛化学）は、日本海ガス絆ホールディングスグループの日本海ガス株式会社（本社：富山県富山市 代表取締役社長：土屋 誠 以下、日本海ガス）、株式会社ネクストプラス（本社：富山県富山市 代表取締役社長：高橋 真人 以下、ネクストプラス）、株式会社テックシンカー（本社：東京都品川区 CEO：洪偉豪 以下、テックシンカー）と共同で、「カーボンクレジットの地産地消」によるオフセットモデル事業を実施しましたことを下記の通り、お知らせいたします。

本事業では、事業活動のカーボンニュートラル化に向けたアクションを企画するとともに、地域で創出されたカーボンクレジットを活用した CO2 オフセットを行うことで、脱炭素と地域共生の両立を目指します。なお、本事業は「NGAS-Accelerator Program 2023」の一環として実施いたしました。

金剛化学は、医薬品原薬製造工場での節電活動に加え、2019年12月に蒸気用燃料を日本海ガスが供給する都市ガス（天然ガス）に燃料転換するなど、年間860トンのCO2削減を図っています。これまでのスコープ1、スコープ2への取り組みに加え、本事業を通して、スコープ3で排出するCO2削減に取り組みました。引き続き、環境と調和した事業活動に努めるとともに、サプライチェーンへの拡大など、カーボンニュートラルに向けた検討も進めてまいります。

金剛化学、日本海ガス絆ホールディングスグループ、テックシンカーは、ステークホルダーの皆さまとともに、引き続き、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

▼特設 Web サイト：<https://www.offemission-carbonoffset.com/kongo-chemical>

◆オフセット内容

金剛化学の製造に携わる従業員が、通勤時に自家用車で排出するCO2を算定した結果、9.6トンのCO2を排出していることが確認されました。算定期間に排出されたCO2は、地域のカーボンクレジットを活用して、オフセットしています。なお、本事業では、富山県内で創出された森林由来のクレジットにより、カーボンクレジットを地産地消し、CO2のトレーサビリティ向上を図っています。

・算定量：

① 2023年4月 従業員97名の従業員の通勤距離およびCO2排出量	35,042 km	3.4トン
② 2023年5月	〃	25,999 km 2.5トン
③ 2023年6月	〃	38,206 km 3.7トン
	合計	99,247 km 9.6トン

・活用クレジット：

認証制度名	オフセット・クレジット（J-VER）制度
プロジェクト実施者	富山市カーボン・オフセット運営協議会
プロジェクト名	富山市と森林組合による間伐促進型森づくり事業 「森のチカラ」富山プロジェクト
プロジェクトタイプ	森林経営活動による CO2 吸収量の増大 （間伐促進型プロジェクト）
クレジットの無効化日	2023 年 9 月 21 日

■ NGAS-Accelerator Program 2023

NGAS-Accelerator Program 2023 とは、日本海ガス絆ホールディングスが主催し、日本海ラボと株式会社ゼロワンブスターが共同で運営する事業創造プログラムです。北陸地域への新しい価値提供を目指し、スタートアップ企業との共創を進めています。本プログラムでは株式会社テックシンカーを含む 6 社が採択されました。

本件では、ネクストプラスとテックシンカーが協業することで、省エネや創エネといったハード面に加え、企画から排出量算定、カーボンクレジットの調達・運用などの、オフセットの支援体制を整えることで、企業のカーボンニュートラル化を最後までサポートできる体制の拡充を目指します。

▼ホームページ：<https://01booster.com/program/ngas/>

■ 本件に関するお問合せ

金剛化学株式会社 施設部 白坂 TEL：076-423-6619

（日本海ガス絆ホールディングスグループ）

日本海ガス株式会社 I 社 営業部 野上 TEL：076-431-1400

株式会社ネクストプラス 業務部 牧田 TEL：076-443-2630

株式会社テックシンカー 矢島 TEL：050-6873-1909

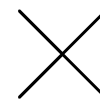
service@offemission.com

カーボנקレジットの地産地消を通じて、 カーボンニュートラルと地域共生を促進

～スコープ3カテゴリ7従業員が通勤時に排出するCO2のオフセット～



日本海ガス絆ホールディングスグループ



97

名従業員

3

か月の通勤

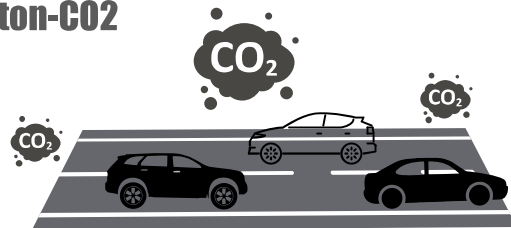
カーボンオフセットで

ゼロ

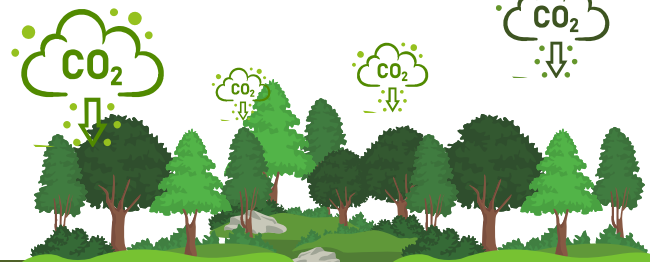
にします

計

10 ton-CO2



オフセットプロジェクト：
富山市と森林組合による間伐促進型森づくり事業
「森のチカラ」富山プロジェクト





日本海ガス絆ホールディングスグループ



金剛化学株式会社

代表取締役社長 金森 俊樹 コメント

ビタミンB1の合成・製造からスタートした金剛化学は、おかげさまで創業82年を迎えます。弊社が製造している医薬品原薬や合成中間体には厳しい品質管理・製造管理が求められています。

昨今、「カーボンニュートラル」や「脱炭素」のワードを目にしなない日はありません。弊社は、これまで工場の省エネやCO2削減施策をはじめ、細心の品質・製造管理に努めてまいりましたが、今回、日本海ガス絆ホールディングスグループ様、テックシンカー様とご縁があり、初めてスコープ3のオフセットモデル事業に参加させていただきました。

本事業での経験を踏まえ、さらに環境と調和した事業活動を目指し、不断の進歩を積み重ねてまいります。

日本海ガス絆ホールディングス株式会社

代表取締役社長 新田 洋太郎 コメント

日本海ガス絆ホールディングスは、1942年の創立以来、80年近くにわたり、北陸エリアのインフラを担う企業として地域の人々の暮らし・経済・産業の発展を支えてきました。

いま、世の中は、地球環境問題を背景にしたカーボンニュートラル化の推進や、ライフスタイルや価値観の多様化など、さまざまな課題に直面し、まさに変革の時にあります。

NGAS-Accelerator Program 2023では、次の暮らしや産業を支える革新的なビジネスを北陸から産み出すべく、スタートアップ企業のテックシンカー様との共創を進めています。金剛化学様とのモデル事業を通し、地域のカーボンニュートラル化に向けたサービスの確立を目指します。

株式会社テックシンカー

CEO 洪 偉豪 コメント

弊社は、排出量の可視化することにより、脱炭素社会推進や気候変動への問題意識を拡大させることを目指し、2022年に設立したスタートアップ企業です。

今後、温室効果ガスの排出はコストとなり、企業の事業活動に大きな影響を及ぼす要素になると考えます。削減に向けたご支援を行うとともに、環境ビジネスの促進を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

このような事業化が困難な社会課題を解決するためには、解決策が市場で価値として評価されるしくみが不可欠です。弊社はカーボンニュートラルを先導するルールメーカーを目指してまいります。